

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

篠塚教授の急逝をいたむ	加 藤 寛
篠塚慎吾先生の人と学問	岡 本 博 司
篠塚先生の人となりと学問	渡 部 茂

篠塚慎吾先生略歴および業績

論 説

金融機関の公共的性格と社会的責任	
— 損害保険会社の架空契約事件の顛末とそれがもたらしたものに に関連して —	本 間 靖 夫 (1)
EC条約82条による高価格設定の規制	外 崎 忠 (31)
公共財の自発的貢献モデルにおける効率性と所得再分配	岡 崎 哲 郎 (49)
戦後民主主義の内省的考察	
— 日本国憲法, 教育基本法, 靖国問題 —	藤 川 吉 美 (61)
テスト・マーケティング研究 (4)	陸 正 (83)
ソフトカー [走行能力設定・表示車] の 社会的受容基盤の形成: その成果と展望 (下)	小 栗 幸 夫 (113)
電気通信事業における分割民営化の在り方について	平 井 友 行 (163)
新自由主義の意義と問題点	穂 山 守 夫 (177)
組織進化論	
— 「組織化」の理論を中心に —	加 藤 久 明 (203)